

家庭と学校の役割 ①家庭の役割って・・・

3-6 エピソード

担任の先生はね・・・

彩香は6年生の女の子です。とても不満そうな顔で学校から帰ってきました。



娘 「お母さん、聞いてよ。きょう先生に怒られたのよ。」

母親 「どうしたの。」

娘 「理科の実験の時、うるさいって。」

母親 「怒られるようなことしてたんでしょ。」

娘 「男の子ばかり顕微鏡をのぞいていて、ちっとも見せてくれ

ないから 男の子に文句言ってたの。そしたら、勉強の邪魔だから、その班全員立ってなさいって。理由も聞いてくれないのよ。」

母親 「そりゃ、男の子たちのせいよね。」

娘 「そうよ。私たちにも勉強する権利あるんだから。」

母親 「班のグループ分けがまずいんじゃないの。先生ももっと各グループを回って指導すべきよ。」

娘 「そうよ。もっとまじな男の子と組めば良かった。」

母親 「明日先生に言ったら？班を組替えしてくれって。今のままじゃ勉強できないわよ。あの先生、この前の授業参観でも、あなたが手を挙げていたのに、当ててくれなかったものね。全体を見てないわ。気配りが足りないのよ。」

父親 「・・」

学童期の子どもをもつ親のプログラム

追加

3-6



1 この母親と娘（彩香）の会話を聞いていた父親は何と言うでしょうか。

2 この娘（彩香）の話を聞いた母親の、別の対応を考えてみましょう。

3 この会話から娘（彩香）はどんな気持ちになっていくのでしょうか。